

令和3年度広島県立呉特別支援学校センターだより



カメラリア
Camellia

第1号
令和3年4月15日発行

—カメラリアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

今年度、本校の専任教育相談主任（特別支援教育コーディネーター）になりました、山田裕一（やまだ ひろかず）と申します。

地域の子供たちが、学習面や生活面で困っている内容について、学校の先生方や保護者、関係機関と連携をしながら、子供たちに適切な支援を皆様と一緒に考えていきたいと考えています。子供たちが自分に自信をもち、長所をより伸ばすことができるよう、サポートに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新学期がスタートして、新しく学級担任をした先生や初めて特別支援学級の担任をした先生もいらっしゃると思います。そのような先生方の中には、「学級で配慮を必要とする子供がいるが、どのように支援を考えたよいか分からない。」、「個別の教育指導計画にアドバイスをもらいながら書きたい。」、「何から手をつけたらよいか分からない。」と思っている方もいらっしゃるかもしれません。そのようなときは、まずは本校へ御連絡いただき、是非、本校のセンター的機能を御活用ください。

センター的機能活用の例

下記の6点は、センター的機能の活用例です。お気軽にお問い合わせいただき、御相談ください。

① 小・中学校等の教員への支援機能



② 特別支援教育等に関する相談・情報提供機能



③ 障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能



④ 福祉、医療、労働等の関係機関等との連絡・調整機能



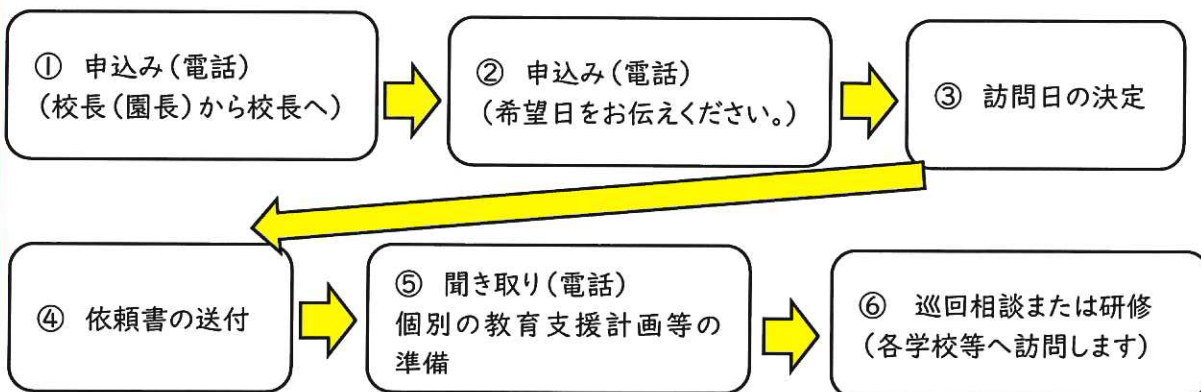
⑤ 小・中学校等の教員に対する研修



⑥ 障害のある幼児児童生徒への施設設備等の提供機能



センター的機能の申し込み方法



※ 詳しくは、次の URL から「令和3年度センター的機能の御案内」を御確認ください。

http://www.kure-sh.hiroshima-c.ed.jp/22TOP11-21/30_kyoiku_center/kyoiku_center.html

見通しのある学校生活について

学校生活では、行事や授業等で予定が変更してしまう場合があります。発達障害を有する子供たちの中には、決められた予定で行動する場合は安心できるのですが、急な予定変更があると強い不安を覚える子供がいます。こうした特性は、脳機能のアンバランスが原因で起きるもので、本人の我儘ではありません。

○ 予定を変更したときの対応方法

急な予定変更のため、子供が活動に参加を拒む場合は、基本的には無理に参加をさせません。無理に参加させることで、不安が強い状態になりパニックになる可能性もあります。この経験が強く残ってしまうと、今後ますます活動の参加が難しくなります。離れた場所から見学することなど、無理のない範囲で参加することを考えましょう。時間割等の変更が決まったら、できるだけ早く子供に伝えて、見通しをもたせます。配慮が必要な子供の中には、短期記憶が弱いために、聞いて理解したつもりでも、すぐに忘れてしまう場合があります。例えば、元の時間割と変更後の時間割を並べて示し、どのように変わったかが視覚的にわかる方法をとることも重要です。大切なことは、子供に見通しをもたせて安心させることです。どの教科がどれに変わるのか、そのために教室はどこへ移動するのか、授業では何をやるのかまで具体的に伝えるようにします。



広島県立呉特別支援学校

担当者：専任教育相談主任（特別支援教育コーディネーター） 山田裕一

住所：呉市焼山北3丁目 22-1

TEL：(0823) 33-0300 FAX：(0823) 33-0308